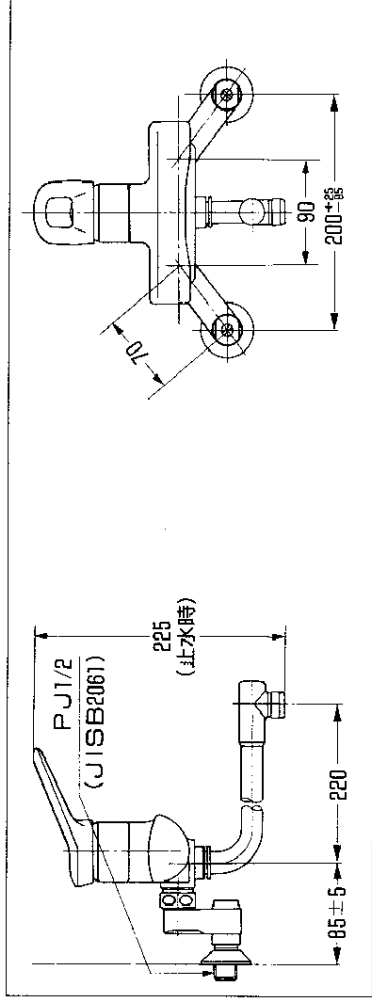


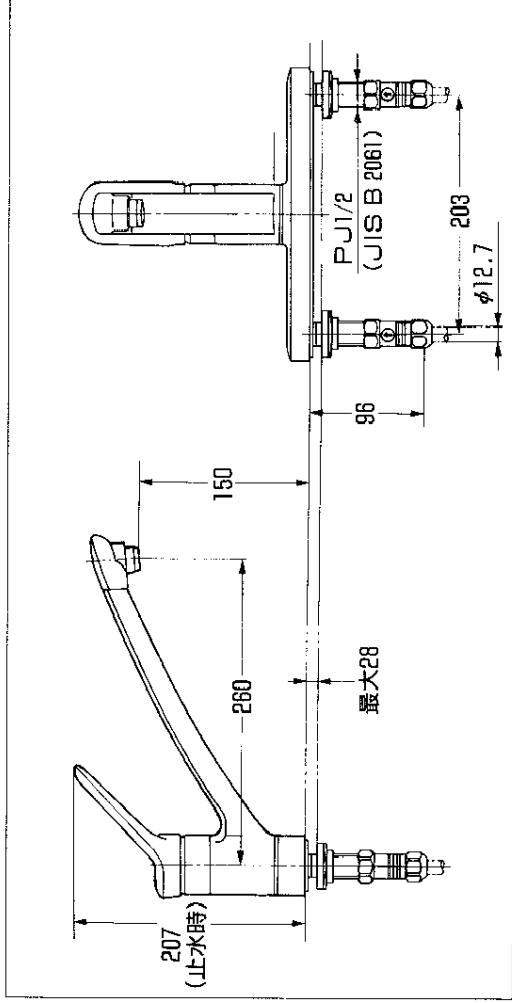
“ニューファミリースリーズ” シングルレバー混合栓取付説明書

完成図

TKF30X, TKF30ZKX
(一般用) (寒冷地用)



TKF33X, TKF33ZKX
(一般用) (寒冷地用)



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用条件

1. 使用水压

(1) 瞬間型給湯機と組合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水压……………(表参照)
最高水压……………0.74MPa (7.5kgf/cm²)
(設定条件)

- レバーハンドルは全開
- 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定
- 吐水温度：38℃
- 給湯配管長さ：5 m
- 給湯機が着火する下限の圧力とする
- 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定
- 比例制御タイプの出湯温度60℃

※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

器具入口部における最低必要水压 (MPa) (kgf/cm²)

給湯機タイプ	給湯機タイプと号数	最低必要水压
能力手動切替タイプ	12号	A + 0.39 (4.0)
	TOTO カスタム 制御方式	0.06 (0.6)
	10号	
	16号	0.07 (0.7)
比例制御タイプ	TOTO トリコン 制御方式 (トリコン ・コンタクト ・アクティ)	0.05 (0.5)
	16号	
	20号	
	24号	
TOTOハイトリコン 制御方式	アクティ スーパーアクティ	0.04 (0.4)
	32号	0.05 (0.5)
	21号	0.04 (0.4)
	24号	
TOTO コマンド	16号	0.06 (0.6)
	24号	0.05 (0.5)
TOTO ハイコマンド	21号	0.04 (0.4)
	24号	

注) 表中のAは給湯機の最低作動水压を示します。
(比例制御タイプにはこの数値が含まれていません。)

②貯湯式温水器と組合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05MPa {0.5kgf/cm²}
最高圧力…0.74MPa {7.5kgf/cm²}

③給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2.給湯に蒸気を使用しないでください。

3.湯・水を逆配管しないでください。

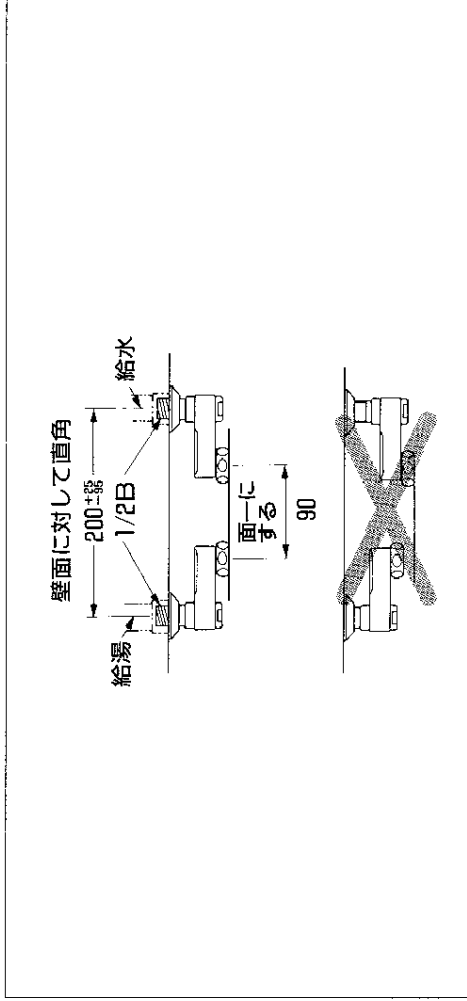
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材料を巻いてください。

器具の取付け

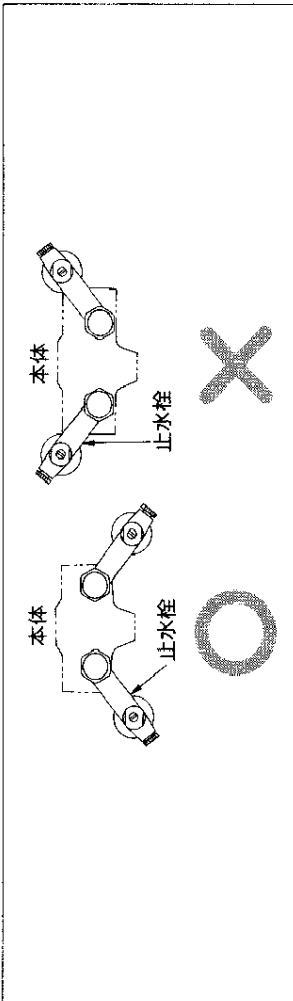
1.給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2.止水栓の取付け (TKF30X, TKF30ZKXの場合)



※寒冷地用TKF30ZKXの場合は止水栓の取付け位置が本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取付けてください。



※取付位置

●混合栓は流しが一槽式の場合は槽の中央に取付けてください。

●二槽式の場合は右図のように二槽の中央より約80mm大槽側に寄せるとより使いやすくなります。

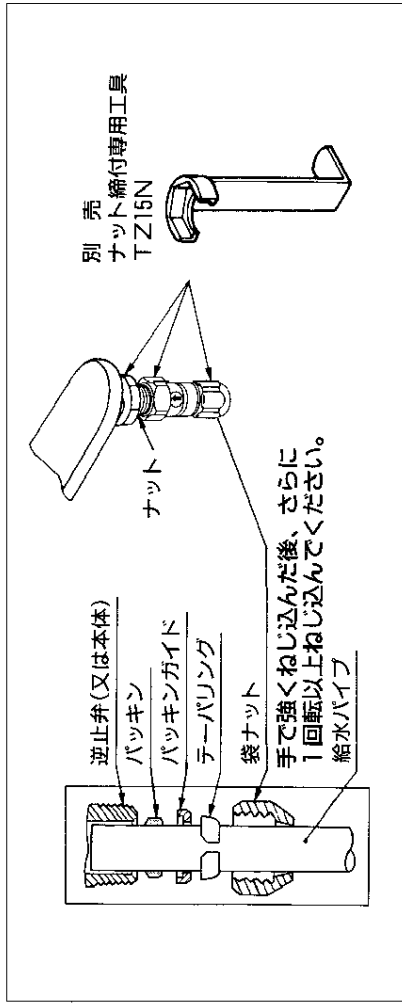
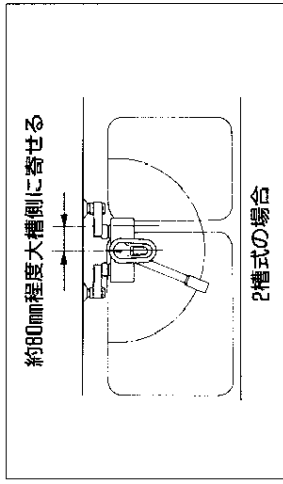
3.混合栓本体の取付け

(1)TKF30X, TKF30ZKXの場合

混合栓本体を止水栓に押しつけ、袋ナットで取付けてください。

(2)TKF33X, TKF33ZKXの場合

混合栓を固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり別売のナット締付専用工具 (TZ15N) を利用して確実に締めてください。



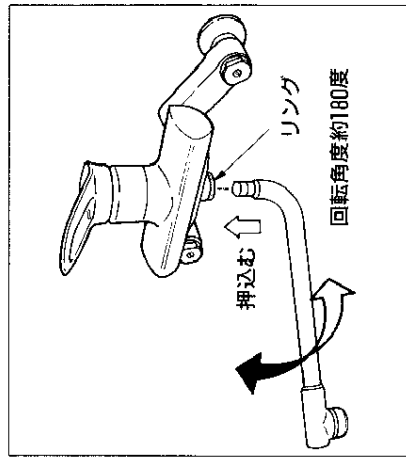
※差込み給水・給湯パイプに袋ナットを入れ、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番・向きをまちがえないように接続してください。

4.スバウトの取付け

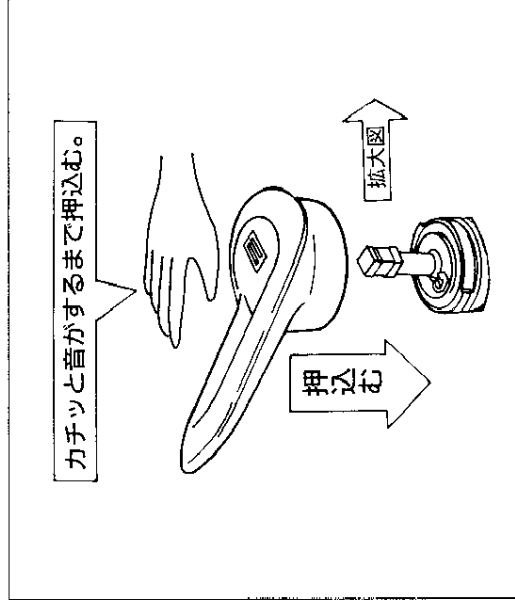
(TKF30X, TKF30ZKXの場合)

同梱されたスバウトを右図のように押込み取付けてください。この時、吐水口キャップを手前にして取付けてください。(後向きに取付けると、ストッパーがあるため、吐水口が手前に向きません。) 万一、間違っても取付けた場合は、スバウト取付部のグレーのリングを上に押し上げながら、スバウトを取りはずしてください。

※吐水口は押込むだけで取付けが可能です。

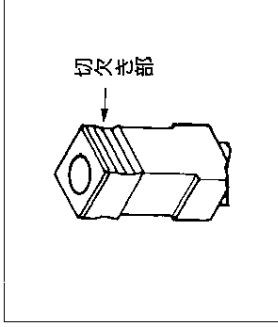


ハンドルの取付要領



このハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

ご注意



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。

万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。

最後に、ハンドルが容易に抜けないことを点検してください。
※品番によって図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。
レバーハンドルを早く操作しようとする、抵抗感が発生し重く感じることもありますが、ありません。
万一、レバーハンドルがロックして水が止まらなくなった場合は、一度全開にして再度ゆっくり閉めて下さい。

寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

(水抜手順)

- レバーハンドルを中央位置(湯側・水側の中間)で下げる。
- 水抜コックを開く。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

- ふだんは柔らかな布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみておいておくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわなどは使用しないこと。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

現象	点検項目
吐水量が少ない。	1、2
水が止まらない。	3、4、5、6
吐水温度不良。	1、2
ハンドルがガタつく。	7

レバーハンドル
7. カチッと音がするまで差込んであるか

カートリッジ押え
5. 十分締付けてあるか

バルブ部カートリッジ

バックキン
リング
ハネ

カートリッジケース
バックキン
3. 備、ごみかみはないか

逆止弁

止水栓
1. 止水栓は、全開されているか

吐水口キャップ
2. ごみつまりはないか

止水栓は、全開されているか

寒冷地用
水抜コック

レバーハンドル
7. カチッと音がするまで差込んであるか

カートリッジ押え
5. 十分締付けてあるか

バルブ部カートリッジ

バックキン
リング
ハネ

吐水口キャップ
2. ごみつまりはないか

1. 止水栓は、全開されているか

寒冷地用
水抜コック

締付専用工具(TZ15N)

点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。(TKF30X, TKF30ZKXを除く)再セットされる際に、ストッパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押込むこと。

その際カートリッジ押えの内側の歯と、ストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせる様に調整してください。

ストッパー
カートリッジ押え
位置合わせのとき
バルブ部カートリッジ

※同梱のご愛用のしおりは、必ずお客様にお渡しください。手渡してできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。